

シイタケイベント レポ

有元 康人

雨が心配されたシイタケイベントは、2月19日、気温は低くとも風は無く、体感的には活動に適した環境で行われました。

児童17名、保護者14名、参加者スタッフ6名、会員スタッフ23名の合計60名が参加しました。

朝8時30分集合でしたが、当会スタッフは、朝早くから来て、会場のカンバンや旗の設置、ヘルメットの準備等を行い、参加者を待ちました。

9時前から開会式を行い、千載会長の挨拶、太田副会長の司会進行で、注意事項の説明、特にコロナに対しての感染予防や手洗い、アルコールによる除菌等の説明を行いました。

次に参加者を3班に振り分け、①シイタケ菌打ち、②コナラ植樹、③里山遊びの活動内容とイベントのスケジュールを説明して、9時15分イベント開始。

活動時間と移動、休憩を1部構成(1時間)とし、3部構成で活動が進みました。

各々の会場で会員スタッフによる、イベントの詳細説明。

シイタケイベントでは、初めての菌打ちに興味津々、木槌を初めて持つ子もいましたが、すぐに慣れ、どんどん櫓木が作られていきました。



コナラの植樹も、協働作業で掘られた穴に、親子でコナラの苗木を植えて、支柱を建て、氏名を記入した銘板をかけて植樹の完成。子供たちは、慣れない手で重い掛矢(カケヤ)を持ち、支柱を打ち込んでいました。



里山遊びでは、子供たちは、丸太渡り、ブランコ、木登りなど、最初は戸惑っていましたが、すぐに慣れて、歓声を上げて遊具に取り組んでいました。

高い所が苦手な子も、雰囲気飲み込まれたのか、親御さんも驚くほど高い所に挑戦していました。



最後に閉会式、千載会長が閉会の挨拶を行い、参加者から楽しかったという言葉をもらい、シイタケイベントが終了しました。

このイベントがコロナの影響を受けず、雨の心配も乗り越えて、無事故で終了できたこと、スタッフ一同喜んでいます。